

部屋と外 a room and outside

加藤 舞衣
KATO MAI

2019年7月5日|金__7月21日|日 11:00 - 19:00
月曜日休廊 / 金曜日20:00まで Gallery PARC [2~3階展示室]

2014年より毎年開催しているギャラリー・パルク主催による展覧会企画公募「Gallery PARC Art Competition」。6回目となる本年は、応募総数64プランから厳正な審査により採択された2名・1組による3つの展覧会を開催いたします。本展はその[#01]として、2階展示室で加藤舞衣による個展「部屋と外」を、4階展示室で坂口佳奈・二木詩織による展覧会「キャンプができたらいいな。」を同時開催いたします。また、7月26日から8月11日までの[#02]ではパルクの全フロアを会場に、洪亜沙による個展「アンバーランド」を開催いたします。

C.V.

加藤舞衣 KATO MAI

1994 大阪府出身
2017 京都精華大学芸術学部メディア造形学科
版画コース 卒業
2015 フィンランドトゥルクアーツアカデミー交
換留学
2019 多摩美術大学大学院美術研究科絵画学科
卒業

[展覧会]

2015 work in progress (トゥルク市・フィン
ランド)
2016 夜昼プリズム 池上真由・加藤舞衣 二人展
(Kara-s / 京都)
2017 京展 (京都市美術館)
2017 TAMABI SELECT vol.4 (多摩美術大学
八王子キャンパスアートテーク / 東京)
2018 アートフェア東京2018 Future Artists
in Tokyo “スイッチルーム” (東京国際フ
ォーラム / 東京)
窓辺とブランケット (ソーイングギャラリー
/ 大阪)
2019 第20回「1_WALL」(ガーディアンガー
デン / 東京)

[受賞歴]

2017 京展 (入選)
2019 第20回 1_WALL (ファイナリスト)

アーティスト ステートメント

私の作品に描かれているモチーフは、道端に落ちていた踏み潰された花びらや誰かが捨てた空き箱やビニール袋、壁に貼られたままになって長年放置されていたテープ、使われた後のガーゼやほつれた糸などである。

自作の中で一番表現したいことは、物の在り様であり、支持体の中に時間が流れている様な景色と空間である。物本来を見ることに焦点を当てて制作を進めていく中で、「物は時間の経過や自然の力や人間の力で形や色が変化していつている」ということに興味を持った。

目指しているのは、物そのものを主役として、自分自身の感情や想いよりもその存在をダイレクトに見せることである。そのため、「インク=物」「紙=空気」に見立て、物と空気の溶け合いを「紙とインクの対話」で表現している。

作品について

物に刻まれた時間に興味がある。
道端に落ちている潰れた花びらやゴミ、使われてほつれている布や糸、壁の傷やテープの跡・・・、そういったものに興味を持ち、今まで描いてきた。

これらのモチーフのどこに興味があるのか考えた結果、私は物から感じる人の痕跡、そして使われている時間から現在私が物を見ている瞬間までに流れている時間なのだと感じた。

痕跡というものが私の視線を通してどういう風に見えるのか、と、鑑賞者が私の作品を見たときの感覚が重なった時に何が起こるのかを見てみたい、と考えている。

展覧会について

誰もが日常生活において目にはしているが、目にしていることに気づいてない、忘れ去られてしまっているもので、時間の経過が感じられるもの(朽ちた花びらや道端に捨てられたゴミや壁に貼られたテープ、ほつれたガーゼなど)をモチーフに制作してきた。

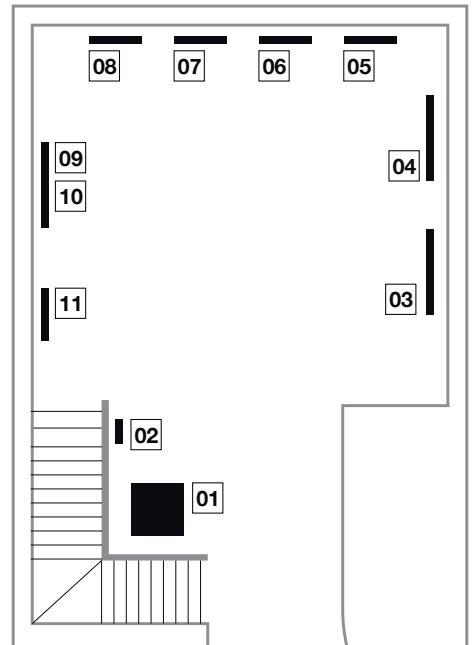
道端に落ちていたもののシリーズでは、不特定多数の人や自然の力で朽ちていったものを描いている。私が見かけた場所から明日には

もうなくなっているかもしれないようなもの、そこにあることに気づいている人があまりいない。しかし、みんなどこかでみたことあるようなものである。そういったものを絵画にすることで鑑賞者は何を感じるのか。

自作をきっかけに、鑑賞者の内に新たなストーリーが生まれるような展示を試みている。

作品リスト

2F



- 01 petals #4**
2019 リトグラフ、いづみ紙 755×700mm
- 02 in a room**
2019 リトグラフ、いづみ紙 420×310mm
- 03 wall_3**
2019 リトグラフ、いづみ紙 750×980mm
- 04 wall_4**
2019 リトグラフ、いづみ紙 750×980mm
- 05 wall_8**
2019 リトグラフ、いづみ紙 955×750mm
- 06 wall_7**
2019 リトグラフ、いづみ紙 955×736mm
- 07 wall_9**
2019 リトグラフ、いづみ紙 967×745mm
- 08 wall_10**
2019 リトグラフ、いづみ紙 955×732mm
- 09 wall_5**
2019 リトグラフ、いづみ紙 750×986mm
- 10 wall_6**
2019 リトグラフ、いづみ紙 750×986mm
- 11 wall**
2019 リトグラフ、いづみ紙 735×1100mm

3F

- 12 wall**
2019 リトグラフ、雁皮紙 サイズ可変

本公募に応募した理由は

大学院を卒業して社会人となるタイミングで展示をやりたいと思って応募した。大学院でいろんな展示に参加する中で、自分が何がやりたいかがはっきりしてきたので、この時期に個展として一度カタチに起こしてみたかったから。パルクは空間が特殊で一癖あるけどそこがいいなと直感的に思った。

現在の素材・技法はどのような理由で選択しましたか

版画専攻を選んだ理由は特になく、高校生の時そこまでやりたいことがなかった。精華大学の版画コースはブックアートや紙造形、デジタルなどができるから入学してからやりたいことを探せそうだと思ったから。リトグラフを選んだ理由はインクの質感が油性なのでこってりしていて、刷られている紙の質感との差が感覚的に好きだったから。

リトグラフを現在まで用いて制作している理由は自分と作品とモチーフの距離感が取りやすいから。リトグラフはイメージを起こす過程と描画、製版、刷りと作業的に制作していく課程と作品として完成する時が分かれている。制作を作業的にこなすことで自分の思考が絵の中に入り込まない、自分自身と作品が分離しているところが制作しやすい。

これまでの作品に通底する問題意識や興味はどのようにものでしょうか

興味は、物の痕跡というのが大きなキーワードで、痕跡の中に流れている時間や人の跡。私は知らないことや人が物には刻まれていて、見えないけどストーリーが見えるような感覚になること。

問題意識は日常の中で気づく時間が減っていること。私自身大学院を卒業して働くようになってから学生の時のように道を歩いてる時にこれは面白い物が落ちているとかあの看板は面白いとかこの花は綺麗だとか気づきづらくなってしまった。私の作品はみんな見ている物だし知っている物だけれども見ていることに気付いていないような物をモチーフにしている。ある意味今の時代に良くも悪くも合っているなと自分でも感じている。

今後の活動の中で目指し、取り組みたいポイントなど

版画の枠組みを超えるということがどういうことなのか、何をしたら超えられるのかがまだ良くわかっていない。

私は作品の周りに空気が生まれるようなものがリトグラフで作りたい。版画の枠組みを超えることと自分がやりたいことは直結していると思うので、制作しながら考えていきたい。公募展には積極的に出したい。

作品をつくることはどういうことか

社会に対して問いかけること。

作品を見せることはどういうことか

私個人のものではなくなること。作品を目に通したら鑑賞者のものにもなる。

作品や作家に限らず、魅かれるものがあれば教えてください。

歌詞の意味がわからないけど一生懸命歌っている子供

作品や作家に限らず、これから自分の見たいものなどあれば教えてください。

フィヨルド

現在の自身の問題点はなんですか？

だいたいうまくできてしまうこと。
たぶん実際はできてない。

何が美しいか

意識せずに目に入ったものを美しいと思って意識の中に入れた瞬間

何が醜いか

あまり良く考えていないこと

何がカッコいいか

わからないことを「わからない」とちゃんと伝えること

何がカッコわるいか

わかっているふり

何が気持ちいいか

特にない

何が気持ち悪いか

揃いすぎていること

何を望んでいるか

一般的な幸福にプラスアルファされたもの

何を望まないか

死んだら地獄に行くこと

何を求めているか

ずっと作品を作り続けたい

何を恐れているか

意欲がなくなること

楽しいことは

だいたいなんでも楽しいと思う。

苦痛は

高圧的なもの

行ってみたい場所は

日本でまだ行ったことないところに行きたい。
フィンランドにまた行きたい。

やってみたいことは

また留学したい。

これから何をしたいか

絵を描くのが好きと思ったことは一度もない。でも今までずっと続けてきたし、今後も続ける。私は作品の中に自分を入れたくないし、自分と作品は分離しているとずっと考えていたけど結局作品を作っているときは作品と私の一対一になっている。作品を作ることで、嬉しいことも楽しいことも生まれるし、問題も毎回出てくる。制作の中で生まれる様々なことと向き合いながらこれからも作品を作って世の中に出して行きたい。